

東京
会場

先端技術を有する機器メーカーが一挙集結！
先進的(Edge)なソリューションをご提案！

エッジ・テクノロジーセミナー ～電池材料評価編～

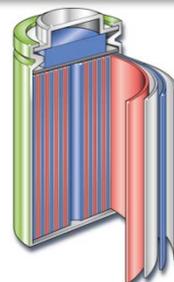
NETZSCH



PANalytical



- 日時: 2015年4月17日(金) 13:00～17:30 (受付開始 12:30～)
- 会場: エッサム神田ホール 2F 201会議室 (JR神田駅より徒歩2分)
- 定員: 80名 ●参加費: 無料
- 主催: カンタクローム・インスツルメンツ・ジャパン合同会社
ネッチ・ジャパン株式会社
スペクトリス株式会社 パナリティカル事業部、マルバーン事業部



本セミナーでは、「電池材料評価」に焦点を当て、「エッジな」技術を有する各メーカーが集結し、様々なキーワードに関するソリューションを提案します。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

■プログラム

13:00～13:10	ご挨拶
13:10～14:05	粒子計測技術を基軸にした、電極材料の多角的評価事例 スペクトリス株式会社 マルバーン事業部 リチウムイオン二次電池における電極材料は主に現状は粒子で形成されています。その粒子のもつ化学特性や、形態情報は製造工程や電池の性能を支配する重要な因子である。本セッションでは、粒子評価技術を基軸にして、多角的に分析した事例を紹介します。
14:05～15:00	電池材料の結晶構造とナノ粒子のサイズ測定 - 粉末X線回折の原理と応用 スペクトリス株式会社 パナリティカル事業部 近年の粉末XRDはピクセル型検出器や高速検出器専用の光学系の登場により測定精度が飛躍的に向上している。XRDを上手に使い、精密に正極材料の定性・定量や格子定数を分析する方法を紹介します。また、様々な充放電セルを組み合わせた応用例や簡単な拡張で測定可能な小角散乱による触媒ナノ粒子のサイズ分布測定について解説いたします。
15:00～15:10	休憩
15:10～16:05	ガス吸着・細孔分布測定を用いた電池材料の構造評価方法の紹介と注意点 カンタクローム・インスツルメンツ・ジャパン合同会社 BET比表面積の計算における最適な計算エリアの導出方法、吸着等温線解析におけるダミーピークに対する注意点など「目からウロコな情報」や、密度汎関数理論を用いたマイクロ細孔の最新の評価方法水銀圧入法とガス透過法の違いと、ガス透過法を用いたセパレーターの測定事例をご紹介します。
16:05～17:00	電池材料評価における最新の熱分析・熱物性装置と評価事例 ネッチ・ジャパン株式会社 TG-DSC-FTIR-MSを用いると、詳細が不明であった重量減少や吸発熱ピークなどが明らかになる。硝酸Mn、硝酸Liなどを例にとった多段階の熱反応挙動事例をご紹介します。また、セパレーター・電解液など各部材の熱的安定性評価からコインセル・パウチセルの温度における電池容量・サイクル特性の評価、安全性試験まで幅広い分野での熱分析を用いた事例なども紹介します。
17:00～17:10	質疑応答
17:10～	技術相談会 (希望者のみ)

※上記講演内容は予定であり予告なく変更させて頂く場合があります。

会場地図



【お申込方法】

次ページのセミナー参加申込書にご記入の上、FAXでお申込み下さい。

お申込先 **FAX: 045-453-2248**

【お問合せ】

ネッチ・ジャパン株式会社 マーケティング 加川 宛
TEL: 045-453-1962 email: netzsch.japan@netzsch.com

「エッジ・テクノロジーセミナー ～電池材料評価編～」 参加申込書

FAX送付先:045-453-2248

セミナー事務局:ネッチ・ジャパン株式会社 マーケティング 加川 宛

東京会場 2015年4月17日(金) 13:00~17:30

貴社名		
御住所		〒
1人目	御所属	
	氏名	
	TEL	
	E-Mail	
2人目	御所属	
	氏名	
	TEL	
	E-Mail	
3人目	御所属	
	氏名	
	TEL	
	E-Mail	

お申込が届きましたら、申込受領のメールをお送りさせていただきます。

個人情報の取扱について

- ◆ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関するお客様へのご連絡、情報提供や営業活動などを目的として利用いたします。
- ◆当該個人情報は、カンタクルーム・インスツルメンツ・ジャパン合同会社、ネッチ・ジャパン株式会社、スペクトリス株式会社、各社以外の第三者には一切提供いたしません。
- ◆お客様ご自身の個人情報に関する照会や訂正、追加、または削除については、お客様ご本人から別途ご連絡いただくことにより合理的な期間および範囲内で対応させていただきますので、セミナー事務局までご連絡ください。